

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	11	
事業名	斎苑管理運営経費		会計	款	項	目
			一般	4	1	6
施策	4 快適なまち		課名	町民課		
	4-2 良好な生活環境のまちをつくる		係名	戸籍住基係		
	4-2-1 環境衛生対策の推進					
主要施策	⑤墓地・火葬場の充実					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	施設の安定した稼働とサービス提供ができています。
事業内容	東員町斎苑の長寿命化…東員町斎苑は昭和61年に竣工し、32年が経過しました。今後は、東員町斎苑中長期整備計画および東員町斎苑個別施設計画の下、計画的な修繕と改修が必要になります。平成30年度は外壁等改修工事を実施。今後は排水設備、電気設備、空調設備、外溝設備、火葬炉設備などの改修が必要となります。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1	葬祭場・斎苑に対する満足度	94	92	87	%	↑	95	
2									
3									
4									
5									
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					13,844	27,782	16,688		
財源内訳	直接事業費 A				13,844	26,198	15,104		
	うち一般財源				7,433	12,289	8,789		
人件費(千円) B					0	1,584	1,584		
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.24	1584	0.24	1584
	臨時職員(人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善(事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	昭和61年に開設した斎苑は、既に33年が経過しており、火葬炉、電気設備等、随所に経年劣化が見られ、長寿命化に向け改修の必要がある。
②H30年度に実施した取り組み	東員町斎苑個別施設計画の策定とその計画に基づき、外壁等改修工事を実施した。	④今後の改善計画	平成28年度に策定した、斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、計画的に改修していく。